

## 催し物のご案内 (4月～6月)

### 観察会・講座等

1. 野外観察「春の雑木林ウォッチング」  
 [秦野市弘法山]  
 日時：4月11日(土) 10:00～15:00  
 対象：小中学生とその保護者50名(抽選)  
 募集：3月3日(火)～3月24日(火)

2. 野外観察「地形ウォーキング」  
 [小田原市国府津]  
 日時：5月3日(日) 10:00～15:00  
 対象：一般50名(抽選)  
 募集：3月24日(火)～4月14日(火)

3. 野外観察「水辺の動物ウォッチング」  
 [松田町川音川]  
 日時：5月9日(土) 10:00～15:00  
 対象：小中学生とその保護者50名(抽選)  
 募集：3月31日(火)～4月21日(火)

4. 室内実習「図鑑を作ろう—魚編—」  
 [博物館]  
 日時：5月10・17日(日) 10:00～15:00  
 (全2回)  
 対象：18歳以上10名(抽選)  
 募集：3月31日(火)～4月21日(火)

5. 野外観察「磯の動物ウォッチング」  
 [真鶴町三ツ石海岸]  
 日時：5月23日(土) 10:00～15:00  
 対象：小中学生とその保護者50名(抽選)  
 募集：4月14日(火)～5月5日(火)

6. 室内実習「スゲ属植物の研究」  
 [博物館]  
 日時：6月3日(水) 14:00～16:00  
 対象：一般40名(抽選)  
 募集：4月28日(火)～5月19日(火)

応募方法：往復はがきに参加行事名、参加代表者の住所、氏名、電話番号(連絡先)、参加する人全員の氏名と年齢(学年)を明記して、お申し込みください。応募多数の場合は抽選となります。

「身近な自然発見講座」  
 毎月第3水曜日に、一般の方を対象に、博物館周辺での自然観察や館内での実習・実験をする身近な講座を開催しております。参加費は無料ですが、バス代・電車賃が必要ことがあります。事前の申込みはいりません。当日、歩きやすい服装で、博物館正面玄関にお集まりください。雨天の時は中止します。持ち物：筆記用具、ルーペ、昼食、水筒、雨具、双眼鏡など

4月15日(水)	10:00～15:00
5月20日(水)	10:00～15:00
6月17日(水)	10:00～15:00

## 企画展のご案内

### 「植物画で観る山の花

#### —小林政紘作品集より—

平成10年4月25日(土)～5月24日(日)  
 <開催中、5月4日を除く毎週月曜日と5月6日(水)は休館>

長野県在住の小林政紘氏の協力により、約70点の美しい植物画を通して、日本の山に咲く植物の姿と、植物趣味のひとつとしての植物画の世界を紹介します。

主な作品：信州の高原、八ヶ岳、日本アルプス、大雪山、アポイ岳、礼文島などでの諸作品。英国王立園芸協会展に出品された『日本の椿』

観覧料：無料

## 特別展のご案内

### 「オオカミとその仲間たち

#### —イヌ科動物の世界—

平成10年7月18日(土)～9月27日(日)  
 <開催中、7月20日を除く毎週月曜日と9月16日(水)・24日(木)は休館>

イヌの仲間としてもっとも大きく、またもっとも栄えたオオカミの姿や生活を中心に、生態写真、剥製標本、骨格標本などを用いてイヌ科動物の世界を紹介します。

主な展示品：オオカミ・コヨーテなどイヌ科動物の剥製標本、オオカミ・ニホンジカ全身骨格標本、化石オオカミ頭骨、丹沢産ニホンオオカミの頭骨標本など。

## ライブラリー通信

### オキナエビスの笑顔

「お雇い外国人」という言葉をご存じの方も多いと思いますが、今回の特別展「日本の魚学・水産学事始め」の主役である、フランツ・M・ヒルゲンドルフもその一人でした。1873年(明治6)にドイツより来日した彼は、東京大学医学部の前身である東京医学校で博物学を受け持ち、東大で博物学を教えた最初の外国人になりました。

上野益三著『博物学者列伝』(八坂書房)によりますと、彼が教えていたのは、博物学だけでなく、幾何学、植物学、鉱物学、歴史学、地理学、ドイツ語の作文までも担当していたそうです。いやはや、お雇い外国人もなかなか大変だったようですね。そんな忙しいヒルゲンドルフですが、毎朝、魚河岸に出かけていました。それは水揚げされたばかりの魚たちを見るためでした。本国に送った標本の中には、その時に入手したものもあったに違いありません。

ヒルゲンドルフと神奈川のつながりでも有名な話があります。ある時、江ノ島に来た彼は、土産物屋の店先で珍しい貝を手に入れました。帰国後これを研究した結果新種として発表したのです。これが相模湾の深海に生息するオキナエビスの最初の発見になりました。今回の特別展では多くの標本を里帰りさせることができましたので、オキナエビスも喜んでくれることでしょう。

また、このような展覧会を通して、日本の近代化に大いなる貢献をした「お雇い外国人」たちに、思いを馳せてみるのも素敵なことではないでしょうか。

(司書・土屋定夫)

## 博物館からのお知らせ

### 大型バスの駐車が

#### 予約制になります

国道1号線バイパスの建設に伴い、5月連休明けから博物館の駐車場が縮小される予定です。これにより、駐車可能台数は自家用車140台、大型バス10台となります。また、大型バスについては予約が必要となりますので、事前に博物館団体受付窓口(0465-21-1515)までお申し込みください。ご迷惑をおかけいたしますが、ご協力をお願いいたします。なお、自家用車につきましては事前の予約は不要ですが、混雑が予想されます。なるべく公共交通機関をご利用くださいますよう、お願いいたします。